



トヨタ自動車は、系列販売会社を通じて顧客に提供してきた紙カタログを2025年1月で廃止し、タブレット端末などで閲覧する「スマートカタログ」に切り替える。ペーパーレス化による二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出削減に加え、新車商談のデジタル化も狙う。紙カタログの廃止を惜しむ声も一部あるが、動画などのコンテンツをより活用しやすくなり、提案力も高まると期待されている。

人手を思うように増やせないなかで働き方改革とサービス品質を両立させるため、新車ディーラー各社も業務のデジタル化が必須だ。自動車メーカーも「販売現場のデジタル化はこれからチャレンジしていくたい分野だ」(日産自動車の神田昌明常務執行役員)と後押しを宣言する。しかし、デジタル化は一筋縄ではいかないようだ。日刊自動車のスマートカタログ

デジタル化によって接客手法も進化する(トヨタ自動車のスマートカタログ)



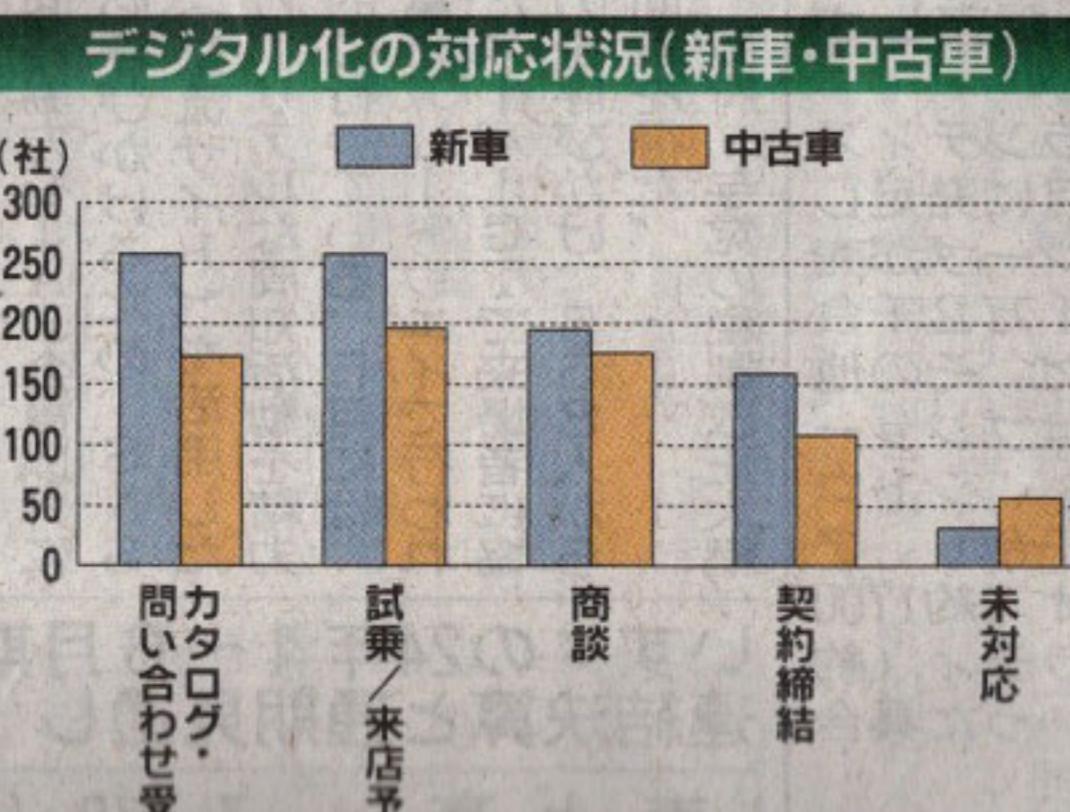
### デジタルのその先へ

# 顧客次第で対応もさまざま

環境整備は急務

だが現在は過渡期

トヨタ自動車は、「カタログや問い合わせ受付」、「試乗/来店予約」、「商談」、「契約締結」、「未対応」の5つの項目で、新車と中古車の対応状況を調査した。



デジタル化の対応状況(整備)

だつたが、24年は72.4% (260社) に上がった。今年の調査では、中古車販売のデジタル化にも焦点を当てた。新車と同様の質問を各社に尋ねたところ、「未対応」を除いたすべての項目で新車を下回った。中古車販売ではウェブでの商品検索が一般的だ。見積もりから購入契約の締結まで来店せずにオンラインで済ませ

24年版の情報通信白書によると、23年のスマートフォン(スマホ)の世帯保有率は90.6%、固定電話(57.9%)やパーソナルコンピューター(65.3%)を大きく超える水準だ。スマホが生活必

上期の中古車輸出は好調に推移したが…



トヨタ自動車は、系列販売会社を通じて顧客に提供してきた紙カタログを2025年1月で廃止し、タブレット端末などで閲覧する「スマートカタログ」に切り替える。ペーパーレス化による二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出削減に加え、新車商談のデジタル化も狙う。紙カタログの廃止を惜しむ声も一部あるが、動画などのコンテンツをより活用しやすくなり、提案力も高まると期待されている。

日本中古車輸出業協同組合(JUMVEA)、佐藤博理事長が公表した中古車輸出台数を日刊自動車新聞がまとめた。上期中、為替相場は1ドル=140円台前半から160円台前半で推移した。前年同期は120円台後半、140円台前半だったため、割安感欲は高い。仕向地別では、アフリカ各地へのハブ拠点であるアラブ首長国連邦(UAE)が11万1107台(前年同期比20.4%増)で首位だ。主要仕向

地だったロシアは同22.3%減(9万5978台)。昨夏に日本政府が経済制裁の一環として排気量1.9ℓ超のガソリン車とディーゼル車、全ての電動車の輸出を禁じた。しかし、迂回輸出もさきやかれており、仕向地別で2位にとどまつた。3位はモンゴル(5万9293台、同77.1%増)だった。

上期として過去最高だったトヨタディーラーは、「デジタル化はこれからチャレンジしていくたい分野だ」(日産自動車の神田昌明常務執行役員)と後押しを宣言する。しかし、デジタル化は一筋縄ではいかないようだ。日刊自動車のスマートカタログ

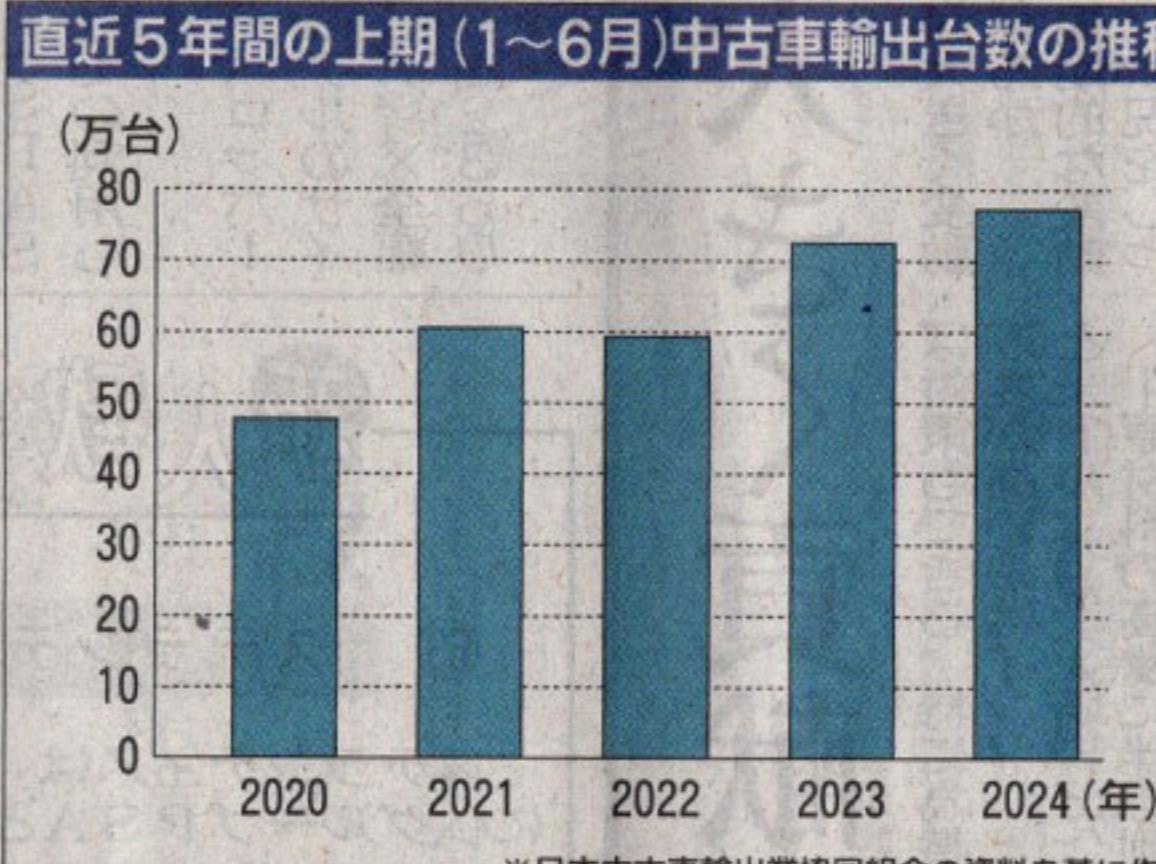
## 中古車

# 円安で海外へ

買い負ける国内事業者

為替や株価も懸念材料

4面に連



したとみられる。上期の国内新車販売は21万7490台(前年同期比2.2%減)と、2年ぶりに前年実績を下回った。認証不正に伴う生産停止の影響で納車が進まず、下取り車も減った。この影響で、中古車オークション(AA)最大手、ユーニット・エス・エス(USS)の上期の出品台数は前年同期を約7%下回った。日本中古自動車販売商工組合(JU中商連、海津博理事長)のAA会場も出品台数が約1割減っている。それでも輸出バイヤーが進まず、下取り車も減った。この影響で、中古車オークション(AA)最大手、ユーニット・エス・エス(USS)の上期の出品台数は前年同期を約7%下回った。日本中古自動車販売商工組合(JU中商連、海津博理事長)のAA会場も出品台数が約1割減っている。それでも輸出バイヤー

の仕入れは活発で、成約価格は上昇傾向にある。USSの場合、7月の平均成約単価は125万6千円。前年同月より2割弱高く、2ヶ月連続で過去最高を更新した。7月の新車販売は7カ月ぶりに前年プラスに転じた。ただし、中古車流通台数の回復にまでつながるかは不透明だ。日銀の追加利上げを契機とした為替や株価の乱高下も懸念される。上期の国内新車販売は21万7490台(前年同期比2.2%減)と、2年ぶりに前年実績を下回った。認証不正に伴う生産停止の影響で納車が進まず、下取り車も減った。この影響で、中古車オークション(AA)最大手、ユーニット・エス・エス(USS)の上期の出品台数は前年同期を約7%下回った。日本中古自動車販売商工組合(JU中商連、海津博理事長)のAA会場も出品台数が約1割減っている。それでも輸出バイヤー



発行所  
日刊自動車新聞社  
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目10番11号  
電話 東京(03)5777-2351代表  
©日刊自動車新聞社2024  
8月8日  
(木曜日)



資料請求はこち

交通事故死者統計	
II警察庁調べ	
◇8月6日:	9人
◇1月からの累計:	1,463人
(前年比5人増)	



